



TITLE:

ナガコガネグモArgiope
bruennichiiフナムシLigia exoticaを
摂食

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. ナガコガネグモArgiope bruennichiiフナムシLigia exoticaを
摂食. 南紀生物 2000, 42(1): 28-28

ISSUE DATE:

2000-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188278>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

短 報

ナガコガネグモ *Argiope bruennichii* フナムシ *Ligia exotica* を摂食

久 保 田 信*

Shin KUBOTA: Garden spider *Argiope* fed sea-slug *Ligia*

日本全土に分布するナガコガネグモ *Argiope bruennichii* (SCOPOLI) は垂直円網を張り獲物を捕らえる (千国, 1989)。今回, 瀬戸臨海実験所研究棟1階の窓に網 (縦×幅: 72×55 cm) を張り, その脇に卵のう (最大幅: 20 mm) をつくった1個体のナガコガネグモの雌 (体長: 25 mm) が, 研究棟付近にはほとんど出現しないフナムシ *Ligia exotica* ROUX (久保田他, 1999) を摂食したので希少例として報告する。

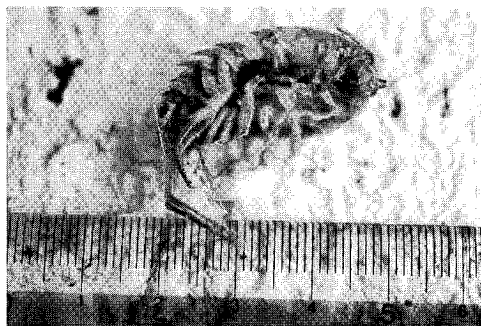


図2 ナガコガネグモに摂食されたフナムシ

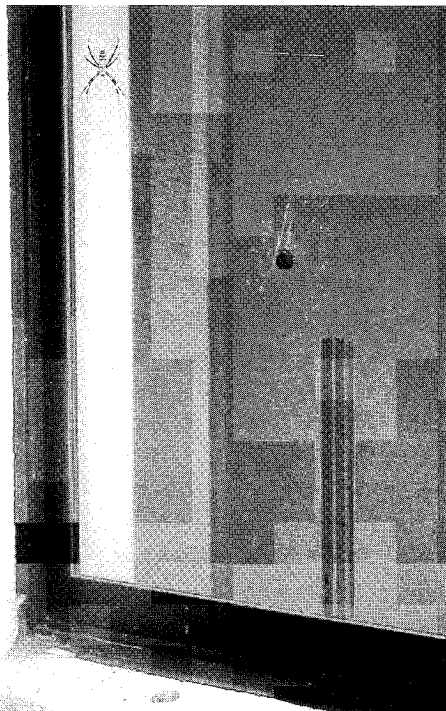


図1 京都大学瀬戸臨海実験所研究棟1階の窓に張られたナガコガネグモの巣とその直下に食われて落下したフナムシ (スケールは全長 399 mm)

摂食日	1999年9月3日 (雌クモのかくれ帯の上端から 65 cm 降下した窓のさんの上に1個体のフナムシの死体を10時半頃に発見)
網を張った高さ	地面から 170 cm に長さ 5 cm のかくれ帯があり, その上に雌クモが通常待ち伏せする
フナムシ	体長 30 mm
摂食の痕跡	フナムシは腹部右側に穴をあけられただけとなっていた。尾部にクモの糸がからまっていた。
その他	発見日より数日後に体長 9 mm の雄が雌の網の直下に生息するのを確認。この一週間後に雌雄のクモは移動したためか消失。

参 考 文 献

- 久保田信・田名瀬英朋・布村 昇. 1999: 瀬戸臨海実験所研究棟内にフナムシ (甲殻類, 等脚目) が初めて出現. 南紀生物, 41(2), 137-139.
- 千国安之輔. 1989: 写真・日本クモ類大図鑑. 308 pp. 偕成社, 東京.

* 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海) Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan